Novel, Challenge and Change 革新への挑戦と変革

National Cancer Center

国立研究開発法人国立がん研究センター

報道関係各位

がん対策の評価指標作成手順と測定結果をまとめた 研究班報告書「指標に見るわが国のがん対策」発行

2015年12月24日 国立研究開発法人国立がん研究センター

国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策 情報センター 若尾文彦が研究代表者を務める研究班「がん対策における進捗管理評価指標の策定と計測システムの確立に関する研究」(厚生労働科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業)は、国のがん対策推進の方向を定める「がん対策推進基本計画」(以下「基本計画」)の進捗状況の把握と評価を行う指標とその測定結果を、がん対策推進協議会へ報告し、本年2015年6月に取りまとめられた「がん対策推進基本計画 中間評価報告書」において、進捗状況および指標の測定結果として多くの項目が引用されました。

全ての施策においては、現状を把握し、施策による効果・影響を踏まえ軌道修正や最適化を行うことが必要です。今回の研究班の活動は、がん対策推進協議会委員を含む各分野の専門家の知恵を結集して指標が選定され、がん対策において初めて指標による検証が試みられたものです。

参考: がん対策推進基本計画中間評価報告書等について

http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000089153.html

そして今般、本研究の手順、作成した評価指標と測定結果およびその根拠、明らかになった課題や今後へ向けた考察を研究班の報告書「指標に見るわが国のがん対策」にまとめ発行し、国立がん研究センターがん対策情報センターがん政策科学研究部のホームページでも公開しました。

本報告書は、がん対策関係者の検討の基礎を提供するとともに、他の分野における政策評価のための資料提供を目的として作成しました。

http://www.ncc.go.jp/jp/cis/divisions/06health_s/06health_s_03.html

「患者体験調査」について

指標の測定においては、わが国の現状を代表する各種データのほかに、患者さん自身の体験に基づき基本計画の全体目標や分野別施策に関する質問に回答いただいた「患者体験調査」の結果を活用しました。「患者体験調査」は、本年 1 月より全国がん診療連携拠点病院 134 施設 14,070 名の患者さん(比較を行うため一部がんでない方も含まれます)へご協力を依頼し実施したもので、7,404 名(そのうち6,729 名のがん患者さん)より有効回答を得て、集計が行われました。本報告書では、その回答内訳と参考集計として行った都道府県別集計も掲載しています。

参考: 2015 年 1 月 15 日プレスリリース 患者体験調査

http://www.ncc.go.jp/jp/information/press_release_20150115.html

患者体験調査にご協力くださった施設および患者さんとご家族の皆さまへ心より感謝申し上げます。

がん対策における進捗管理評価指標の策定と計測システムの確立に関する研究班報告書「指標に見るわが国のがん対策」

目次:

- 1. 報告書の編集方針
- 2. 指標の策定
- 3. 策定された指標を測定するためのデータ源
- 4. 各がん対策指標の測定結果 がん対策進捗管理指標一覧 全体目標・各要素と指標の詳細 分野別施策・個別指標の詳細
- 5. 指標の測定にあたって浮かび上がった課題
- 6. 指標の測定によって明らかになったがん対策の課題
- 7. 結語

巻末資料:

- 1. 分野別指標のデルファイ調査協力者一覧
- 2. 患者体験調査
 - (1)調査票
 - (2) 参加施設一覧
 - (3) 回答者の特性・母集団との比較(非がん患者除く)
 - (4) 都道府県別、母集団の数、調査票発送数、有効回答数(非がん患者除く)
 - (5) 全体回答分布
 - (6) 都道府県別回答分布
- 3. 希少がんの暫定的定義

【報道関係からのお問い合わせ先】

国立研究開発法人 国立がん研究センター 〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1 がん対策情報センター がん政策科学研究部

TEL:03-3542-2511 E-mail:hsr@ncc.go.jp

企画戦略局 広報企画室

TEL:03-3542-2511(代表) FAX:03-3542-2545 E-mail:ncc-admin@ncc.go.jp